

どんぐり村の こみ・すく通信

令和8年3月10日発行

令和7年度 第24号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第4回学校運営協議会を開催

村内各学校の「第4回学校運営協議会」が、それぞれの学校を会場にして開催されました。

今回の学校運営協議会では、3校共、学校から学校評価や今年度の教育活動の様子などが、資料やアンケート調査結果などをもとにして説明され、その後は意見交流が活発に行われました。また、来年度の学校運営方針も提案され、3校とも承認されました。最後には、今年度のコミュニティ・スクールで進めていた「大人の自己肯定感を高める取組」を振り返ることもできました。

〈主な意見・質問等〉

【上更別小学校 2月17日】

- ・小中一貫の活動はあるが、高校との連携はどういう状況なのか。先日の村民集会での高校生の発表を見て、せっかく村内に高校があるのだから、小中との連携をもっと深めてもいいのではと思った。
- ・来年度の学校経営で、研修に力を入れたいということであったが、先生方と保護者がいつしょになって研修する機会があってもいいのではないだろうか。参観日などを利用するなどして。
- ・CSで取り組んだ「大人の自己肯定感」を広める対策として、学校と保護者を繋ぐ「すぐーる」は、とても効果的ではないだろうか。保護者にとっては、スマホで日常的に見ているものとなっているので。

【更別小学校 2月19日】



- ・特別支援教育の先生は、どの先生でもなれるのでしょうか。免許との関係は。
- ・小学校にも教科担任制はあるのですか。どんな状況ですか。
- ・担任が1年ごとに変わるという単年度制はいいと思った。プラス面が多いのでは。
- ・今年度のCSの研修は良かった。先生方の自己肯定感も大事だと思った。

【更別中央中学校 2月26日】

- ・学校行事等を見ていると、子どもたちは伸び伸びと活動していると思う。
- ・「いじめ根絶」の指導の体制はどうなっているのだろう。誰がどのように指導しているのか。
- ・CSの「いじめをなくそう宣言」は、ただ読むだけでなく、毎年毎年子どもたちが今の生活を見直しながら宣言する必要があるだろう。子どもたちに考えさせる時間が必要だと思う。



小中連携で「道徳」(オンライン)

2月25日(水)に、更別小学校と上更別小学校の6年生、さらに、更別中央中学校2年生とが連携し、オンライン通信を使っでの合同授業「道徳」を行いました。

このような試みは初めてのことでしたが、大きな通信トラブルもなく、3校の児童生徒が共通の学習課題に取り組みました。「責任と友情」をテーマにした、小学生でも中学生でも議論が深められる内容でした。小学生にとっては、中学校の授業を体験することにもなり、有意義な時間となりました。

小学生の皆さん!

